

スコアシート		実施設計段階												
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄					全体							
			評価点	重み係数	評価点	重み係数								
Q 建築物の環境品質							4.2							
Q1 室内環境				0.39	-		4.3							
1	音環境		4.1	0.15	-	-	4.1							
	1.1 室内騒音レベル		事務室騒音対策 NC-40											
	1.2 遮音		4.0	0.40	-	-								
			4.3	0.40	-	-								
	1	開口部遮音性能	外部サッシ遮音性能をT-2とする。											
	2	界壁遮音性能	5.0	0.69	-	-								
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	0.31	-	-								
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-								
1.3 吸音		床:タイルカーペット 天井:ロックウール吸音板					4.0	0.20	-	-				
2	温熱環境		4.4	0.35	-	-	4.4							
	2.1 室温制御							3.8	0.50	-	-			
	1 室温		-					3.0	0.38	-	-			
	2 外皮性能		窓:Low-E複層ガラス、外壁:現場発泡ウレタン吹付けt50、屋根:押出成形ポリスチレンフォームt90					5.0	0.25	-	-			
	3 ゾーン別制御性		ペリメータ系統にファンコイル用意					4.0	0.38	-	-			
	2.2 湿度制御		個別に加湿器用意					5.0	0.20	-	-			
	2.3 空調方式		床吹出空調方式					5.0	0.30	-	-			
3	光・視環境		4.0	0.25	-	-	4.0							
	3.1 昼光利用							3.0	0.30	-	-			
	1 昼光率		-					3.0	0.60	-	-			
	2 方位別開口		-					-	-	-	-			
	3 昼光利用設備		-					3.0	0.40	-	-			
	3.2 グレア対策							4.0	0.24	-	-			
	1 昼光制御		ブラインド+庇					4.0	1.00	-	-			
	3.3 照度		設定平均照度を750 lxとした。					4.0	0.16	-	-			
3.4 照明制御		アドレス制御による1作業単位での照明制御を行う。					5.0	0.30	-	-				
4	空気質環境		4.5	0.25	-	-	4.5							
	4.1 発生源対策							5.0	0.50	-	-			
	1 化学汚染物質		内装工事に用いる材料は特記なき限りJIS,JASのF☆☆☆☆とし、その他VOC濃度に配慮する。					5.0	1.00	-	-			
	4.2 換気							3.3	0.30	-	-			
	1 換気量		換気量 30 m³/h人					4.0	0.33	-	-			
	2 自然換気性能		-					3.0	0.33	-	-			
	3 取り入れ外気への配慮		-					3.0	0.33	-	-			
	4.3 運用管理							5.0	0.20	-	-			
	1 CO₂の監視		CO₂ センサによる外調機運転制御					5.0	0.50	-	-			
	2 喫煙の制御		全館禁煙					5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	4.2								
1	機能性		4.2	0.40	-	-	4.2							
	1.1 機能性・使いやすさ							3.4	0.40	-	-			
	1 広さ・収納性		-					1.0	0.26	-	-			
	2 高度情報通信設備対応		-					3.0	0.26	-	-			
	3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている。					5.0	0.48	-	-			
	1.2 心理性・快適性							4.7	0.30	-	-			
	1 広さ感・景観		天高:2.7m以上					4.0	0.26	-	-			
	2 リフレッシュスペース		執務スペースの2.7%のリフレッシュスペースを確保し、自動販売機を設置する。					5.0	0.26	-	-			
	3 内装計画		厚木市民が親しみを感じ訪れることで気づきや学び、創造を享受できる庁舎とした。					5.0	0.48	-	-			
	1.3 維持管理							5.0	0.30	-	-			
	1 維持管理に配慮した設計		防鳥ワイヤーを使用し鳥害対策、金属部材に防錆対策有					5.0	0.50	-	-			
	2 維持管理用機能の確保		モップの洗濯・乾燥スペース、トイレ毎清掃流し有					5.0	0.50	-	-			
	2	耐用性・信頼性		4.5	0.30	-	-	4.5						
		2.1 耐震・免震・制震・制振							5.0	0.50	-		-	
		1 耐震性(建物のこわれにくさ)		免震構造を採用しており、50%増の耐震性を有する計画					5.0	0.80	-		-	
2 免震・制震・制振性能		地下1階柱頭免震装置有					5.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数							3.5	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		-					3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-					3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-					3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ガリバリウムラッキング使用					4.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:VP 雑排水:VP 汚水排水:VP					5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		-					3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性							5.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		BCP機器の系統分け、免震継手の採用、INVの採用					5.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		系統区分化、井水利用、災害時の受水槽の水道蛇口設置					5.0	0.20	-	-				
3 電気設備		非常用発電設備有、受電設備二重化、引込二重化					5.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		耐震クラスS相当としている					5.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		通信手段多様化、引込2ルート化、防災無線発信拠点					5.0	0.20	-	-				

3	対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
	3.1 空間のゆとり			4.4	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	最低階高:4.0m	5.0	0.47		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.123	4.0	0.53		-	
	3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性			4.2	0.40		-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性	PSおよび天井に点検口を設置	5.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性	点検口・システム天井での更新・修繕を行う。	5.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性	点検口・システム天井・OA床内での更新・修繕を行う。	5.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性	電気室・発電機は揚重スペースでの更新を行う	5.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20		-	
	Q3 室外環境(敷地内)			—	0.31	-	-	4.1
1	生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		街並みとの調和を図るため、外壁色を配慮、植栽による良好な景観形成	5.0	0.40	-	-	5.0
3	地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		厚木に根付いた農民文学や風土を取り込んだエントランス空間	5.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.82	4.8	0.20	-	-	4.8
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		太陽光発電設備の導入	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	エリアと用途に応じたWHメーターの設置	4.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			-	-		-	
	4.1	モニタリング	—	-	-		-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		擬音型便器	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	3.4
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	
	2.1 材料使用量の削減		—	3.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	3.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上げ、OAフロアの採用	5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20	-	-	4.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		ビニル床タイル・シート用接着剤、壁紙用接着剤、サッシ用シーリング、壁塗装	5.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
	1	消火剤	—	-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP0、GWP1の断熱材を使用	5.0	0.50		-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出率66%	4.3	0.33	-	-	4.3
2	地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	1.利用者にとってアクセス性のよい位置に駐輪場を計画した。 3.4.5敷地内に一時停車スペースを有する地下駐車場を設けた。 (管理、荷捌き用スペースを確保)	5.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音	—	3.0	1.00		-	
	2	振動	—	-	-		-	
	3	悪臭	—	-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-		-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED照明器具の採用、発光部分の点滅をさせないよう配慮	5.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30		-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	10.0		-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	3.0		-	○	-	○	○								
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	-	○	○	-	○	-	○						
2.4.3 電気設備	4.0	3.0	○	-	○	○	-	○							
2.4.5 通信・情報設備	5.0		○	○	○	○	○	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	5.0		2.0	1.0	-	1.0	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	5.0		-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0					
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	2.0		1.0	1.0	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	1.0	3.0	-	1.0	-	-	2.0	-	2.0			
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	1.0		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.3	窓の日射熱取得率(η)	0.2												
U値(W/m2K)		窓システム	2.8	屋根	0.7	外壁	0.7	床	0.9						
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	-	ηAC	-	ηAH	-							
昼光率	-														
自然換気有効開口面積率	-														

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-						
コンセント容量	-	VA/m ²													
天井高	-	m													
リフレッシュスペース	2.7%	レストスペース	-												
想定耐用年数	-	年													
想定必要間隔	-	年													
想定必要間隔	-	年													
想定必要間隔	-	年													
階高	4	m													
壁長さ比率	12.3%														
床荷重	-	N/m ²													

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	—	建物緑化指数	—												
空地率	-	水平投影面積率	-	地表面対策面積率	-	舗装面積率	-								

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.82	断熱等性能等級	対象外	相当											
自然エネルギー直接利用量	-	MJ/年m ²	採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数	-									
			通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数	-									
BPI/BPI _m	非住宅	0.55	住宅	-	太陽光	103.30kW	太陽熱等	-	蓄電池	-					

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	-														
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-										
使用比率	-														
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-												
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1												
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-												

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標R _w	-												
地表面対策面積率	-	屋根面对策面積率	-	外壁面对策面積率	-										
見付面積S _b	-	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	-	m	基準高さH _b	-	m								
緑地	m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²						